

○ 事業報告 グラウンドゴルフ交流会 実現までの道のり 企画担当 大宮エリア

御前山ダム公園では、県北百人委員会の全体行事と久慈ブロック主催の行事としてグラウンドゴルフが毎年2回実施されてきた。グラウンドゴルフ人口が年々増えるに伴い、参加を呼びかけるとすぐに定員を超える状況になってきており、大会を円滑に運営するための準備作業も大変である。企画責任者の皆川氏は、実施の2か月前から募集要項の原稿作り、日程調整、予算の割り振り等に奔走し、9月12日の打ち合わせ会に間に合うよう資料を作成。打ち合わせ会は久慈ブロック幹事と大宮エリアの委員が出席したが、久慈ブロックは広域なので何回も集まることはできず、「一発勝負」の会合になる。とにかく助っ人はたくさん欲しいので、委員であれば誰でも顔を出してくれるとありがたい。



9月12日開催の打ち合わせ会。大宮市内の食堂で、大会を滞りなく実施するために入念に話し合った。参加者が100名を超えるため、会場設営、賞品の内容・金額など検討すべき事が沢山あったが、忌憚のない意見交換で、昼食を挟み約2時間ぐらいで終了。(大角夫妻は所要により遅れて到着し全11名出席)

大会当日 (以下、皆川善廣記)

前日とうって異なり快晴の9月30日、御前山ダム公園で久慈ブロック主催の「グラウンドゴルフ大会」が行われた。ここダム公園では百人委員会県北地域主催で去る7月16日にも大会を開催している。今回は参加人数枠を100名に限定、8ホール×2コース＝16ホールで競った。各地域の社会福祉協議会、高齢者クラブ等を通じて参加者を募集、チラシを配布して約1週間で定員に達する人気だった。〆切後も参加申込みが続いたがやむを得ずご辞退いただいた。

午前9時から開会式その後準備体操を行いスタートした。快適な気温のもと参加者はのびのびプレーし、ほとんどの方が素晴らしい成績でホールアウトした。優勝者には山方久隆地区の小口委員から水戸家の刻印が入った竹製杖が寄贈され、また、ホールインワン賞としても用意したがホールインワン達成者が6名もいて賞はじゃんけんで競った。最高齢者は常陸大宮市久隆地区から参加した高林さんで91歳で、常陸大宮市の富山委員から正月向けの切り絵がプレゼントされた。

p1

会場準備のため地元御前山エリアの委員などが数日にわたり大会の裏方として活躍した。この方たちの献身的な働きがなければこのような大会を開催することは出来ないと感じた。

---優勝者の声--- (敬称略)

(女子の部) 大角喜代美 那珂市在住

百人委員会に入会して早5年、毎年行われるグラウンドゴルフ大会に参加しています。9月30日の久慈ブロック大会において、優勝することができ、大変うれしく思っています。天候にも恵まれ、一緒に組んだ方々とも楽しくプレーすることができました。

優勝の副賞として、富山明峰様からすばらしい切り絵をいただきました。羽子板の絵なので、お正月に飾りたいと思います。また、小口博光様からもホールインワン賞として、立派な杖をいただきました。ホールインワンをした人全員でじゃんけんをして勝ちましたので、私がもらえることになりました。

本当に運がよく、申し訳ないほど最高の一日となりました。ありがとうございました。

(男子の部) 藤田益男 大子町在住

グラウンドゴルフは前からやっています。初回は8人ぐらいでしたが、今は20人の仲間とやっています。私は他の地域の人たちとも交流したいと思っていたところ、大子町の谷田様に誘われてこの大会に参加するようになり、今回で2回目になります。

前回のときは人数の多さとみなさんが上手なことに驚きました。次に参加するときは皆さんに負けないようにと練習を重ね、おかげさまで優勝させていただきました。ありがとうございました。

○県北百人委員会本部の動向

11月16日日立保健所で幹事会が開催されました。久慈ブロックからは角田委員と福田が出席しました。

主な議題

1 今後の全体行事として、グラウンドゴルフと芸能発表大会は各ブロック単独事業として開催するかどうか検討すること。全体事業として新事業を始めるかどうかは提案待ち。

2 各ブロックから役員(次期委員長)選考委員を選定しました。久慈ブロックからは岩下委員と福田が選定されています。12月21日に選考委員会を発足し、翌1月26日に新委員長選出の予定です。

3 新年に入って会計監査に向けた打ち合わせを予定しています。いまのところ2月24日実施の予定です。

○平成28年度各事業の久慈ブロック委員参加率

(久慈ブロック委員数 40名)

開催日	事業	全参加者数 (参加委員数)	委員参加 率 (/40)
4/12	全体総会	— (28)	70%
4/28	久慈ブロック総会	— (28)	70%
5/10	足利フラワーパークバス旅行	90 (20)	50%
6/22	ニュースポーツ大会	50 (15)	35%
7/16	県北はつらつGG	147 (18)	45%
8/25	西山荘周辺歴史探訪	29 (12)	30%
9/30	グラウンドゴルフ大会	100 (15)	35%
10/30	滝川溪谷ハイキング	14 (6)	15%
11/17	都内施設バス見学	35 (17)	42%
12/01	そば打ち体験教室	19 (14)	35%

百人委員会の事業は委員の皆様の協力に支えられています。

お互いに助け合って事業を成功させ委員参加率を高めましょう。

○今後の事業予定 (平成28年12月現在)

29年1月19日(木) 香取神宮初詣旅行

2月16日(木) 新春ボウリング大会

○コラム 自然環境の大切さ 益子耕一

私は椎茸栽培をする生産農家です。今まで自然環境については全て当然のことと思いい、特に関心を持ちませんでした。5年前の原発事故が起きてから環境に与える影響の大きさが、現実には我が身にも関係することになりました。

椎茸栽培に必要な原木が放射能の汚染により国の規制値を超えて使用できなくなりました。その間電力会社の規準によるわずかな賠償はありますが、多くの生産者は今後の不安とあきらめにより、経営をやめざるを得ない状況です。毎年原木を伐採して検査機関に依頼しますが、汚染状況は一定ではなく年ごとに波があります。今年も再び検査したところ規制値以下の原木が見つかり、試験的に約1000本植菌しましたが、これは約70キロメートルほど離れた近県から持ってきた物です。2年後に実ります。その生産物の検査結果により安全を確認できれば、その後の生産が可能ですが、規制値を超えた場合は不可能になります。今後の2年間にどのような環境対策があるか、関心があります。

一度汚染された自然環境が元に戻るのには相当時間がかかります。

p3

○コラム 鮎を釣る 小口博光

鮎と出会ったのは中一の夏休みでした。久慈川の支流の盛金地区に鮎が上がってきていました。水鏡を覗くと石の周りを、クルックルッと巡回しながら、苔を食んでいるのが珍しくてとても新鮮に見えました。それから数十年後、社会人になって幼なじみに誘われて、栃木県的那珂川に鮎釣りに行きました。釣り道具も持たずに全部借り物です。罠り鮎をつけてもらい、ソーと流れに放しました。と、間もなく急に竿先が重くなりどんどん引っ張られて流されていきます。そうです！！鮎が掛かったのです。どうしてよいかわからず、思わず「どうすればいいのー」と叫んでいました。自分で取り込むことができない衝撃的な”鮎デビュー”でした。その後、鮎にのめり込んでいったのは言うまでもありません。夏になると鮎の香りが漂ってきます。メロンのような西瓜のようなさわやかな香りです。寒い冬が終わり春がきて、いよいよ鮎が、私が、久慈川に帰ってきます。



(小口氏作俳句 芸能発表大会時出展)

○事務連絡

- ・資料直接受け取りについて

経費節減のために引き続き、事業に積極的に参加して資料の交付を受けていただくようお願いします。

- ・ホームページの利用について

「県北地域高齢者はつらつ百人委員会」のWebページでは、随時更新作業を行ってタイムリーな情報提供に努めています。各種事業で撮影したスナップ写真で広報誌に掲載できないものでもできる限りホームページで見られるようにしています。是非ご利用ください。ホームページへのアクセスは、<http://ibaraki100nin.jimdo.com/> と入力するか「茨城県北百人委員会」で検索して、「県北地域高齢者はつらつ百人委員・茨城県-Jimdo」をクリックすると表示されます。

- ・積極的投稿について

お住まいの地域の催事，知られていない穴場的スポット，高齢化社会などの時事問題の提起，俳句・短歌・写真・絵画などの趣味の作品などを広報担当者（福田）までお送りください。次回発行は2月ごろ、28年度総括としてアンケートを中心とした内容を予定しています。

- ・委員退会の意思表示について

那珂エリア担当の大角喜代美委員をとおして同エリアの中山友子、肥田朋子両委員から退会希望が出されましたのでお知らせします。

ひとりひとり楽しいことが百人委員会の宝物です